

『第 8 期中央区自立支援協議会』

地域移行・地域定着部会  
報告書

令和 7 ( 2 0 2 5 ) 年 2 月

中央区自立支援協議会 地域移行・地域定着部会 委員名簿

種別	氏 名	所 属 団 体
医療関係	た の おおひと 田野 大人	公益社団法人中央区医師会
事業者	なかの まゆみ 仲野 真由美	NPO法人つつじ 理事長
医療関係	とどころ あやこ 戸所 綾子	公益社団法人日本橋医師会
障害者団体	むろた かずまさ 室田 和正	中央区精神障害者家族会
民生委員	おがさわら のぶお 小笠原 宣夫	中央区民生・児童委員協議会
区民公募	あまの やちよ 天野 八千代	区民公募
区民公募	せきづか のりえ 関塚 範枝	区民公募
事業者 (指定管理)	さえぐさ まさのり 三枝 正規	知的障害者生活支援施設 レインボーハウス明石 副施設長
事業者	R6.4.1～R6.8.31 やまざき いっせい 山崎 一成 R6.9.1～ すずき としゆき 鈴木 俊之	障害者地域活動支援センター ポケット中央 施設長
事業者	みずはら すすむ 水原 進	精神障害者グループホーム「ホームつつじ」
社協	うざわ ふうこ 鵜沢 風子	中央区障害者就労支援センター
区職員	やました り さ 山下 理沙	区職員 (月島保健センター健康推進担当係長)
区職員	りゅう ゆきこ 龍 佑企子	区職員 (障害者福祉課相談支援係長)

計 13名

## 部会のテーマ・検討内容

「地域生活支援拠点について」

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて」

### 【開催日時・議題】

開催回	開催日時	開催場所	議題
第1回	令和6年 7月11日(木) 18時半～	中央区役所 別館10階会議室	①委嘱状の交付 ②副部会長の選任 ③地域移行・地域定着部会で扱う主な内容 とこれまでの協議内容について (1)精神障害にも対応した地域包括ケア システムの構築 (2)地域生活拠点等の整備
第2回	令和6年 10月29日(火) 18時半～	中央区役所 8階 大会議室	①中央区障害者計画・第6期中央区障害福 祉計画・第2期中央区障害児福祉計画の 令和5年度実績について ②令和6年度地域生活移行支援会議圏域 別会議について ③フレームワークを用いた地域資源と課 題の洗い出し(協議)
第3回	令和7年 1月27日(月) 18時半～	中央区立 福祉センター 会議室	①令和6年度地域生活支援拠点の取組に ついて ②中央区障害者計画・第8期中央区障害福 祉計画・第4期中央区障害児福祉計画策 定に向けた実態調査について ③来年度の取組について

## 議事要旨

### 第1回 令和6年7月11日(木)

- ①「委嘱状の交付」
- ②「副部会長の選任について」
- ③「地域移行・地域定着部会で扱う主な内容とこれまでの協議内容について」

#### (1) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

今年度は、部会員の変更があったため、昨年度までの本部会における協議事項及び厚労省から示されている、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの概要を確認した。本区の実情を踏まえた地域移行・地域定着に関する様々な社会資源を整理し本区の強み弱みを洗い出していく方針を整理した。

#### (2) 地域生活拠点等の整備

「中央区障害者計画・第7期中央区障害者福祉計画・第3期中央区障害児福祉計画」にも明記されている地域生活拠点の充実について本区の現状を確認した。なお、令和6年11月時点で、拠点の登録事業所は15か所となっている。

#### ④「意見交換」

議題3を踏まえ、委員の皆さんの立場や経験からどのように感じたかをグループ形式で意見交換した。

### 【委員からの主な意見】

- ・精神疾患のある人をどのように地域で支えるかは、一律に対応できるものではなく大変難しいが、このような公的な場で熱心に話し合いができること自体が非常に大切である。

また、中央区のように、精神科入院病棟がない地域で医療、保健、福祉を連携させていくことは非常に難しいが少しずつでも前進できたいらよい。

- ・中央区は人口増加が著しいが福祉の担い手不足が課題であると実感している。
- ・障害のある人を支援するうえで、支援者ではなく本人がどのようなことを求めているかを大切にしなければならないと感じた。
- ・「にも包括」は、退院後支援に目が行きがちであるが、外来患者や、医療に繋がっていない人がたくさんいるため、もっとスポットを当てた支援をしていきたい。
- ・身体、知的、精神それぞれ障害のある人が、各ライフステージなどでどのような困難があるか、それに対してどのような社会資源があるかがわかるようなフレームワークを作成すると分かりやすいのではないかと。

## 第2回 令和6年10月29日(火)

### ①「中央区障害者計画・第6期中央区障害福祉計画・第2期中央区障害児福祉計画の令和5年度実績について」

計画の各取組の達成状況について事務局より報告した。

### ②「令和6年度地域生活移行支援会議圏域別会議について」

年に1度開催される圏域別会議（自治体職員や基幹相談支援センター、相談支援事業所、医療機関が参加し、講義や意見交換を行う場）の内容を報告した。

### ③「フレームワークを用いた地域資源と課題の洗い出し（協議）」

前回の部会での委員を参考に、本区ケースの全体感を把握するためのフレームワーク案をワーキンググループで作成した。その案への補足や意見について委員同士でグループワークを行った。

#### 【委員からの主な意見】

- ・障害児が障害者になった後も、継続して通える場所や支援があるとよい。
- ・精神障害者同士が集える場所が、ポケット中央以外になく、選択肢がない。
- ・区内で資源が足りないサービスはあるが、中央区の交通の便の良さを活かして他区のサービスを利用することで、行動範囲が広がるというメリットもある。
- ・高校や特別支援学校中退の方など、このフレームに入らない方への支援が難しい。

## 第3回 令和7年1月27日(月)

### ①「令和6年度地域生活支援拠点の取組について」

令和6年度に開催された地域生活支援拠点登録事業所連絡会における協議内容を報告した。

緊急時に備えて、各拠点で関わる利用者に対して平時から短期入所や日中一時支援の利用を促す重要性が議題の中心となった。その後委員間で緊急時の対応について意見交換した。

#### 【委員からの主な意見】

- ・緊急時に対応が困難なケースとして想定されるのは、環境の変化に弱い傾向がある自閉症の方、保護者が認知症の方、また、発達障害が原因によるひきこもりで本人が社会資源と関わっていない方が想定される。
- ・区役所閉庁時間帯に緊急対応する場合の仕組み作りが必要である。
- ・精神障害の方を知的・身体障害者対象の施設内で緊急対応をする場合、本人の生活環境をどのように整えていくかが課題である。

②「中央区障害者計画・第8期中央区障害福祉計画・第4期中央区障害児福祉計画策定に向けた実態調査について

令和7年9月実施予定の実態調査に向けて、質問項目についての意見を各委員に依頼した。提出期限は2月末まで。

③「来年度の取組について」

来年度の取組について事務局より説明した。予定としては、今年度及び昨年度において整理してきた「各障害におけるライフステージごとの課題」と「中央区内における社会資源」との相関関係が分かるように可視化していく。また、新たな議題にも積極的に取り組んでいく。